

成倫勉強会報告 2013. 7. 25

日 時／ 2013年7月25日(木) 14:00～15:30

会 場／ NHK 青山荘 (東京都港区)

講 師／ 田中 慶彦氏 ジャパンケーブルキャスト(株) 代表取締役社長

演 題／ 「4K/8K、IPリニア放送、JCOTTについて」

出席者／ 47名

2011年7月の地デジへの完全移行から2年が経過した。テレビメーカーはこの2年間、国内需要の激減により業績悪化に苦しむ一方、「ポスト地デジ需要」と呼ばれる次世代テレビ像の模索に追われた。また総務省などを中心に、スーパーハイビジョン(4K/8K)放送導入やスマートTVの論議が活発化するなど、多チャンネル放送を取り巻く環境は、活発な動きを見せて始めている。

この度の勉強会では、成倫会員メンバーであるジャパンケーブルキャスト株式会社の代表取締役社長・田中慶彦氏に講演をお願いし、放送業界を取り巻く環境の変化と予測、企業展開等について語っていただいた。テレビの視聴形態が大きく変わりつつある現状の認識を深め、今後の展望を見いだす手がかりとなった。

【主な講演内容】

- ◇総務省「放送サービスの高度化に関する検討会」概要について
- ◇スーパーハイビジョン(4K/8K)ロードマップ
- ◇IP放送化とプラットフォームの進展
- ◇次世代CATVサービス〔IP放送とスマートTV〕
- ◇OTT(オーバー・ザ・トップ) /スマートTVの波がくる。

—資料提供—

ジャパンケーブルキャスト 株式会社
株式会社 J.COTT



講師/田中慶彦氏

